



生徒会主催「いじめ防止集会」を行いました

花巻市では6月1日を「いじめ防止を考える日」とし、市内各学校で様々な取り組みが行われます。本校では、生徒会執行部が中心となり「いじめ防止集会」を行い、「いじめ」について全校で「話し合い」をしました。生徒会長から「いじめをなくすためにしっかり一人一人が考えること」、校長からは「いじめは想像力の欠如から始まること」をそれぞれ伝えました。

演習では、生徒会執行部がプレゼンを効果的に活用して進めていきました。最初に「いじめ」について「やられた人がつらい、悲しいと思ったら」いじめであることを改めて全校生徒で確認しました。次に以下の3つの事例から、いじめられた本人の気持ち、いじめている人の気持ち、いじめを見ていた人の気持ちについて、それぞれ意見を述べ合いました。



事例1	「あだ名」	継続性、悪意の有無にもよるがいじめになる可能性あり。
事例2	「人のモノを移動させる」	本人の許可無く勝手にペンや消しゴム等を移動させるのは本人を不安にさせてしまい、継続されることで居心地の悪い場所になる。
事例3	「人の失敗をいつまでも笑う」	失敗はその場限りにしたいのに、継続して言われることで嫌な気持ちになる。

この話し合いを通して、①そんなつもりはないのに「いじめ」になってしまうこと、②「いじめ」をなくすために何が必要か、③「いじめ」にあったとき・見かけたときどう対処すべきかについて、自分事として考え、主体的に学ぶことが出来ました。いじめのない日常を実現し、生徒が安心して学んでいくため、学校でも、ご家庭でも、みんなで一緒になって考え、実践していければと思います。では、孔子先生曰く・・・論語より。

「己所不欲、勿施二於人」

読み：おのれの欲せざる所、人に施こすこと勿かれ。

意味：自分が好まないことは人も好まないのだから、他人に向かって、してはならない。



初の「話すこと」のテスト

6月27日・28日は学校での期末テストですが、実は、3年生の全国の英語の学力調査では、今年度から初めて「話すこと」のテストが実施されました（5月19日）。これは1人1台のタブレット及びヘッドセット（イヤホンとマイクがセットになっているもの）を利用してネットに接続の上、自分が話したことを録音し、回答していく方式です。担当の先生方は、準備が本当に大変でしたが、本校では無事に終わることが出来ました。このように、全国学調、高校入試、大学入試等、少しずつテストの内容や実施方式等に変化が出始めています。その都度対応していく必要がありますが、今回のテストでも明らかのように、ICT機器（情報機器）をストレス無く操作していくスキルは必須です。ICTを活用した授業の充実に取り組んで参ります。

